

都市再生整備計画 事後評価シート
小松中央地区

令和2年12月

石川県小松市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	石川県		市町村名	小松市		地区名	小松中央地区		面積	150ha																																																																					
交付期間	平成27～令和元(平成31)年度		事後評価実施時期	令和2年度		交付対象事業費	623.9百万円 国費率 0.5																																																																								
1)事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名 基幹事業 道路((市)龍助町九竜橋線)、高質空間形成施設((仮)小松駅前モニュメント、小松駅周辺照明LED整備)、高次都市施設(小松駅南ブロック子育て支援センター) 提案事業 -																																																																												
	当初計画から削除した事業		事業名 基幹事業 高質空間形成施設((仮)小松駅前モニュメント)、高次都市施設(小松駅南ブロック子育て支援センター) 提案事業 -			削除/追加の理由 高質空間形成施設:新幹線事業に伴う駅前広場計画見直しにより削除、高次都市施設:都市機能立地支援事業で対応するため -			削除/追加による目標、指標、数値目標への影響 影響なし -																																																																						
	新たに追加した事業		基幹事業 道路(小松駅西広場整備)、地域生活基盤施設(小松駅南駐車場整備、町家ハウスRyusuke周辺自転車駐車場整備)、高質空間形成施設(小松駅前シェルター整備)、高次都市施設(観光交流センター(北陸新幹線小松駅高架下整備)) 提案事業 -			課題解決に効果のある事業を追加 -			影響あり -																																																																						
	交付期間の変更		当初変更		平成27～令和元(平成31)年度		交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-																																																																						
	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">指標</th> <th rowspan="2">単位</th> <th colspan="2">従前値</th> <th colspan="2">目標値</th> <th colspan="2">数値</th> <th rowspan="2">目標達成度</th> <th rowspan="2">1年以内の達成見込み</th> <th rowspan="2">効果発現要因(総合所見)</th> <th rowspan="2">フォローアップ予定時期</th> </tr> <tr> <th>基準年度</th> <th>目標年度</th> <th>モニタリング</th> <th>評価値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>指標1</td> <td>駅周辺施設の利用者数</td> <td>人/年</td> <td>473,700</td> <td>H25</td> <td>535,300</td> <td>R元(H31)</td> <td>-</td> <td>488,574</td> <td>△</td> <td>あり なし</td> <td>従前値より増加したが目標値は達成しなかった。要因としては、増加を予測していたサイエンスヒルズこまつ、こまつ曳山交流館および、計画期間内に新設されたカブッキーランドで利用者数が減少したことがあり、これはオープン後の風合いが落ちたためと新型コロナウイルス流行の影響を受けたためと思われる。しかし、減少を予測していた施設は全体として横ばい傾向にとどまったこと、新型コロナウイルス流行の影響があったこと、(市)龍助町九竜橋線は今期計画では管路工事までであり現段階では事業効果を十分に発揮するにいたっていないと考えられることから、達成度は△としている。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指標2</td> <td>小松駅利用者数</td> <td>人/年</td> <td>590,000</td> <td>H25</td> <td>647,150</td> <td>R元(H31)</td> <td>-</td> <td>695,229</td> <td>○</td> <td>あり なし</td> <td>H27年度以降、予測を上回る増加傾向となり目標値を達成できた。要因としては、複合施設(こまつアズスクエア)のオープンや駐車場整備、まちなみ景観向上などの事業効果が考えられる。R元(H31)年度は前年度より減少し、これは新型コロナウイルスの影響を受けたと思われる。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指標3</td> <td>中央地域の人口</td> <td>人</td> <td>18,201</td> <td>H25</td> <td>17,578</td> <td>R元(H31)</td> <td>-</td> <td>17,991</td> <td>○</td> <td>あり なし</td> <td>H29年度から若干増加傾向となり、目標値を達成した。内訳をみると、複合施設(こまつアズスクエア)のオープンによる増加傾向にあるが、声松校下は増加傾向にある。まちなみ景観向上や歩行者の安全性・利便性向上、公立小松大学開学による学生・教職員の転入により、人口流出に歯止めがかけられることが期待される。また、新幹線工事従事者の転入も要因として考えられる。</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指標4</td> <td>空き家・空き店舗減少</td> <td>件</td> <td>29</td> <td>H27</td> <td>26</td> <td>R元(H31)</td> <td>-</td> <td>15</td> <td>○</td> <td>あり なし</td> <td>無電柱化事業は管路工事までしか完了しておらず現段階では事業効果を十分に発揮するにいたっていない。しかし、他事業による都市機能の充実及びまちなみ景観の促進、クラウドファンディング活用事業により、龍助町・西町の空き家・空き店舗数が減少したため、目標値を達成した。</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値	指標1	駅周辺施設の利用者数	人/年	473,700	H25	535,300	R元(H31)	-	488,574	△	あり なし	従前値より増加したが目標値は達成しなかった。要因としては、増加を予測していたサイエンスヒルズこまつ、こまつ曳山交流館および、計画期間内に新設されたカブッキーランドで利用者数が減少したことがあり、これはオープン後の風合いが落ちたためと新型コロナウイルス流行の影響を受けたためと思われる。しかし、減少を予測していた施設は全体として横ばい傾向にとどまったこと、新型コロナウイルス流行の影響があったこと、(市)龍助町九竜橋線は今期計画では管路工事までであり現段階では事業効果を十分に発揮するにいたっていないと考えられることから、達成度は△としている。		指標2	小松駅利用者数	人/年	590,000	H25	647,150	R元(H31)	-	695,229	○	あり なし	H27年度以降、予測を上回る増加傾向となり目標値を達成できた。要因としては、複合施設(こまつアズスクエア)のオープンや駐車場整備、まちなみ景観向上などの事業効果が考えられる。R元(H31)年度は前年度より減少し、これは新型コロナウイルスの影響を受けたと思われる。		指標3	中央地域の人口	人	18,201	H25	17,578	R元(H31)	-	17,991	○	あり なし	H29年度から若干増加傾向となり、目標値を達成した。内訳をみると、複合施設(こまつアズスクエア)のオープンによる増加傾向にあるが、声松校下は増加傾向にある。まちなみ景観向上や歩行者の安全性・利便性向上、公立小松大学開学による学生・教職員の転入により、人口流出に歯止めがかけられることが期待される。また、新幹線工事従事者の転入も要因として考えられる。		指標4	空き家・空き店舗減少	件	29	H27	26	R元(H31)	-	15	○	あり なし	無電柱化事業は管路工事までしか完了しておらず現段階では事業効果を十分に発揮するにいたっていない。しかし、他事業による都市機能の充実及びまちなみ景観の促進、クラウドファンディング活用事業により、龍助町・西町の空き家・空き店舗数が減少したため、目標値を達成した。
指標	単位	従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期																																																																				
		基準年度	目標年度	モニタリング	評価値																																																																										
指標1	駅周辺施設の利用者数	人/年	473,700	H25	535,300	R元(H31)	-	488,574	△	あり なし	従前値より増加したが目標値は達成しなかった。要因としては、増加を予測していたサイエンスヒルズこまつ、こまつ曳山交流館および、計画期間内に新設されたカブッキーランドで利用者数が減少したことがあり、これはオープン後の風合いが落ちたためと新型コロナウイルス流行の影響を受けたためと思われる。しかし、減少を予測していた施設は全体として横ばい傾向にとどまったこと、新型コロナウイルス流行の影響があったこと、(市)龍助町九竜橋線は今期計画では管路工事までであり現段階では事業効果を十分に発揮するにいたっていないと考えられることから、達成度は△としている。																																																																				
指標2	小松駅利用者数	人/年	590,000	H25	647,150	R元(H31)	-	695,229	○	あり なし	H27年度以降、予測を上回る増加傾向となり目標値を達成できた。要因としては、複合施設(こまつアズスクエア)のオープンや駐車場整備、まちなみ景観向上などの事業効果が考えられる。R元(H31)年度は前年度より減少し、これは新型コロナウイルスの影響を受けたと思われる。																																																																				
指標3	中央地域の人口	人	18,201	H25	17,578	R元(H31)	-	17,991	○	あり なし	H29年度から若干増加傾向となり、目標値を達成した。内訳をみると、複合施設(こまつアズスクエア)のオープンによる増加傾向にあるが、声松校下は増加傾向にある。まちなみ景観向上や歩行者の安全性・利便性向上、公立小松大学開学による学生・教職員の転入により、人口流出に歯止めがかけられることが期待される。また、新幹線工事従事者の転入も要因として考えられる。																																																																				
指標4	空き家・空き店舗減少	件	29	H27	26	R元(H31)	-	15	○	あり なし	無電柱化事業は管路工事までしか完了しておらず現段階では事業効果を十分に発揮するにいたっていない。しかし、他事業による都市機能の充実及びまちなみ景観の促進、クラウドファンディング活用事業により、龍助町・西町の空き家・空き店舗数が減少したため、目標値を達成した。																																																																				
3)その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	その他の数値指標1		小松駅周辺の歩行者交通量		人		平日:7,815 (R元(H31)) 休日:5,189 (R元(H31))		-		平日、休日ともに、H30年度に大きく増加している。要因としては、複合施設(こまつアズスクエア)のオープンによるホテルやカブッキーランドの集客効果、また、同施設内の公立小松大学開学に伴い、学生や学校関係者の歩行者交通量が増加したことによるものと考えられる。																																																																				
4)定性的な効果発現状況	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民主体によるまちづくり活動により、自分たちの町の「景観まちづくり」に対する市民意識の向上に寄与できた。 ・事後評価を機として、庁内の横断的な検討体制によりまちづくりに対する問題点や改善点について共通意識が得られるなど、まちづくりに対する庁内の意識が高められた。 																																																																														
5)実施過程の評価	モニタリング		実施内容				実施状況				今後の対応方針等																																																																				
			-				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				-																																																																				
	住民参加プロセス		・龍助町・西町北国街道まちなみ協議会				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 地域住民主体による歴史的まちなみ景観向上や賑わい創出といった、協議会によるまちづくり活動が継続するよう、定住促進や駅周辺施設をつなぐ歩行ネットワーク構築により市は後方支援する。																																																																				
持続的なまちづくり体制の構築		・NPO法人 カブッキータウンこまつ				都市再生整備計画に記載し、実施できた 都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した 都市再生整備計画に記載したが、実施できなかった				● 賑わい創出事業や空き店舗情報の提供等まちなみ活性化に向けた活動が継続するよう支援する。																																																																					

様式2-2 地区の概要

小松中央地区(石川県小松市) 都市再生整備計画事業の成果概要

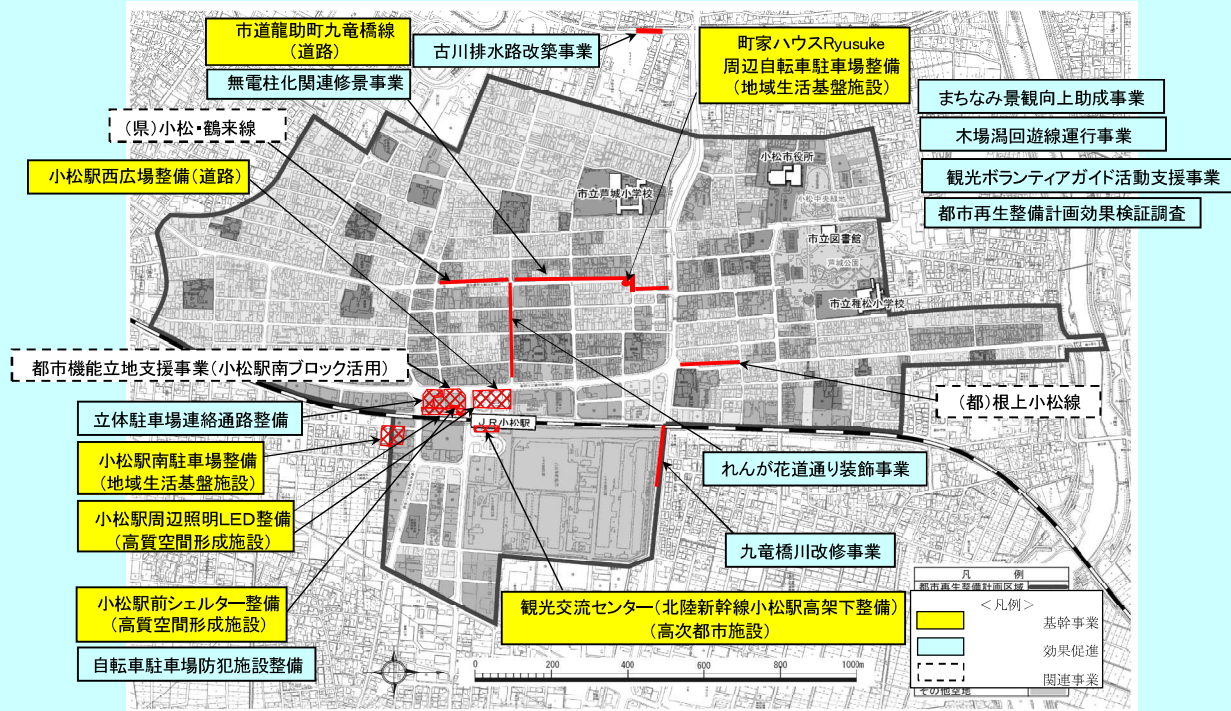
まちづくりの目標	目標を定量化する指標	従前値	目標値	評価値
大目標: "都心にふさわしい魅力と快適性に恵まれた歴史・文化の香り高い躍動感あふれるまちづくり" (こまつ最頂(びいき)が集うまち)	①駅周辺施設の利用者数	473,700 H25	535,300 R元(H31)	488,574 R元(H31)
目標1「交流機会の拡大」: 小松城の城下町としての歴史的地域資源と新たな文化施設により、歴史・文化回廊を創出し、観光客数の増加を図る。	②小松駅利用者数	590,000 H25	647,150 R元(H31)	695,229 R元(H31)
目標2「都市機能の充実」: 人々が集い賑わう魅力的な都市機能を集積し、地域コミュニティの活性化を図る。	③中央地域の人口	18,201 H25	17,578 R元(H31)	17,991 R元(H31)
目標3「まちなか居住の促進」: 魅力ある地域づくりを継続することで、まちなかの賑わい再生を図る。	④空き家・空き店舗減少	29 H27	26 R元(H31)	15 R元(H31)



小松駅周辺照明LED整備



自転車駐車場防犯施設



れんが花道通り装飾事業



小松駅前シェルター整備



まちの課題の変化

・複合施設(こまつアズスクエア)がオープンしたことや駐車場需要の受け皿としての小松駅前駐車場整備による交流人口の増加、観光ボランティアガイドへの活動支援もあり、区内を訪れる人は増加した。しかし、駅周辺施設の利用者数増加にはつなげていない。今後は、歴史的地域資源をつなぐ歩行ネットワーク構築を完了させる等で歩行者の回遊性向上を図る。
 ・駅前複合施設整備等により駅周辺施設の都市機能が充実し、駅周辺の歩行者交通量が増加して賑わいが増した。今後は、基本設計が完了した観光交流センター及び駅西広場の整備を完了させ、より一層の賑わい増加を目指す。
 ・小松駅周辺照明LED整備やシェルター整備など、小松駅周辺の利便性向上により駅利用者数は増加している。R5年春の北陸新幹線小松駅開業に向けターミナル機能の強化が必要である。
 ・地域住民主体のまちなみ景観の保全により、地域資源である町家等を活かしたまちなみ景観が向上した。今後は、地域住民が主体となって継続していくことが望まれる。一方、地域交流の担い手育成のため、地域内の定住を促進する必要がある。

今後のまちづくりの方策(改善策を含む)

・小松駅西側の旧北国街道沿いに古くから発展してきた歴史文化を活かした景観整備を行い、駅周辺に点在する歴史的な施設をつなぐ歩行ネットワーク構築を図る。また、案内サインのリニューアル整備により、観光客や利用者の利便性を高めるとともに、歩きたくなるまちづくりを目指す。
 ・駅利用者の利便性向上や交通結節機能の強化を図り、さらなる交流人口の増加に伴う駐車場供給台数不足を解消する。また、周辺施設へのアクセス利便性・安全性の向上を図るとともに、目印となる特徴的な空間など、来街者の歩行誘導や待ち合わせの場、自由度の高い広場を創出する。
 ・地域交流の担い手となる居住者を増やすため、町家再生や土地共同化により定住を促進し、市街地の核としての土地利用を推進する。